

セブンスデー・アドベンチスト教団

アドベンチスト

November



はらしゆく



「まだ終わりではない」 (聖句：マタイ24:6)

東京中央教会牧師 板東 洋三郎

事件から約2か月、“September 11”の影響は、合衆国はもちろん、世界中で日ごとに大きくまた深刻になっていきます。恐怖を知らなかったアメリカが、今初めて、それを経験しています。見えない敵ほど恐怖を駆り立てるものはありません。それがテロの本質です。それは、前線のない戦争であり、軍服を着ていない兵士によるものです。アフガニスタンを包囲している合衆国が、国内では恐怖に包囲されています。旧共産国のように、今も国家を恐れている国民がある一方、多くのアメリカ人は自分の国に住むことを恐れ始めていると、「タイム」紙10月22日号は伝えています。

今回の大テロに関して、悪い事実と良い事実の二つがあります。**悪い事実**とは、このような恐ろしいことがその度を増すしつつ続くであろうということです。しかも、誰がどんな説明を試みようが、本質的には宗教が背景にあるものであることは否定できません。そして、**宗教が戦うとき勝者はありません**。手をたたいて喜んでいる者が別の所にいることを、私たちは知っています。一方で、ある人たちが混乱に乗じた偽の脅迫や「予言者」に対する過剰な反応のために、宗教に対する拒否や懐疑を更に強め、他方では、宗教的になるがために自分のそれ以外の宗教に対して不寛容になる傾向が強くなりがちです。

事実、合衆国の多くの公立の学校では、“September 11”を境に、信教の自由という合衆国憲法の大原則を守るために、明らかに法律で禁止されているにも拘らず、キリスト教式の祈りが捧げられています。しかし、そこには確信をもった仏教信者、イスラム教信者あるいは無神論者もいるはずですが、たとい国や状況で立場が変わることがあっても、強い者が弱い者あるいは少数者を圧迫するのが人間の常であることは、歴史からも明らかです。霊的なこと、あるいは良心の自由に関することにおいて、**たとい一見正当に見えることであっても、数や力で強制することは致命的な誤り**です。正しい認識のない熱心さ(ローマ10:2参照)は、しばしば神のご計画の妨げにこそなれ、助けにはなりません。

ところで、**良い事実**とは何でしょうか。それはまぎれもなく、いま合衆国や世界が経験していることが人類ドラマの最終場面ではないということです。「まだ終わりではない」とイエス様が言われるとき、人々には確かに悩みや苦しみがあるけれども、それは、神に対する信頼と希望を抱かせるものであり(ローマ15:4参照)一人でも多くの人を救おうとしておられる神の憐れみと忍耐の大きさを語っておられるのです(ヨハネ16:33; 2ペテロ3:9参照)。そして更に、ご自身が十字架での大きな苦しみを、御父に対する愛と服従によって勝利され、復活の栄光にあずかれたように、**最後まで彼を愛し従って行く者に対して究極的な勝利と栄光が今の苦しみの後に来る**ことを、保証しておられるのです(ローマ8:18参照)。

ただし、**その約束が実現する前に一つのことが起こります。福音が世界中に宣べ伝えられること**です(マタイ24:14参照)。「あわれみに満ちた最後の光、世界に伝えるべき最後の使命は、神の愛の啓示である。神の子らは、神の栄光をあらわさなければならない。彼らは、その生活と品性において、神の恵みが彼らのためにどんなことをなしたかを表さなければならない」(キリストの実物教訓、392)とあります。私たちが生かされているのは、まさにこの使命のためであります。

いっしょに、み言葉を学ぼう！

私たちの霊の糧はみ言葉です。み言葉に満たされて喜び溢れる安息日学校へ、教会へ、安息日へ、日常の暮らしへと願いつつ、皆様の参加をお待ちしています。（安息日学校）

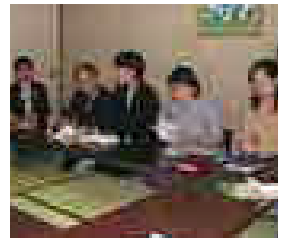
青年のクラス

私たちのクラスは事務室脇のロビーで行っています。青年中心で構成されていますが、年齢に拘わらずどなたでも参加していただきたいと思えます。特徴は天気の良い日には、椅子を外に出して野外クラスにしたり、出席者全員で神様を賛美してクラスを始めることなどです。来訪者の出席が多く、毎回メンバーが異なるクラスでもありますので、その週の教課のポイントをあけてのディスカッションが中心です。皆様もぜひ一度ご参加下さい。（齋藤麻美）



2階和室クラス

私たちのクラスは、畳の部屋でリラックスした雰囲気の中で、教課のポイントを総まとめにし、それを現在の日常生活に結びつけながら、聖書の真理をいろんな角度から深く学びます。自由に意見発表や質問ができ、真理でクラスの人たちの心が一つになる感じです。また教課の時間が終わったら、もっと聖書を学びたいという気持ちになることを願っています。時々私のつたない日本語ですることもあります。但しいは、通訳付きです。ご安心を！（マーク・デュアート）



祈りの部屋クラス

私たちは「祈りの部屋」でいたしております。教師は、坂本さんと渡部（正）です。家族的な雰囲気を大切にしているクラスです。教課研究の前半は、教師が今週の教課のポイント、まとめをお話いたします。後半は皆様が今週の教課を学んで感じられたこと、疑問、質問などを自発的に話していただきます。そして互いに語り合います。この後半は大変楽しく、笑いもあり、盛り上がり、ときには終わりの時間を忘れてしまうこともあります。（渡部正廣）



会堂クラス

ベテラン今先生と、お声を聞いているだけで癒される金子先生を中心に、教課を導いていただいています。少し遅れてしまっても入りやすいクラスです。ときには他の教会からいらした方も参加され、色々な方々からの意見も聞けますが、座席が前を向いて座る形なので意見が聞こえにくいところもあります。お互いの顔と顔を合わせて分かち合える小グループのクラスが、たくさん会堂にできたらいいですね。（武井今日子）



初心者クラス（会堂）

もともと求道者、新しい信者またはお客様のためのクラスでした。しかし、どういう訳か人数がかなり少なくなって、たまには司会者だけが出席ということもあります。求道者や新しい信者の把握が定かでないせいもありますが、これが教会の現状かも知れません。しかしお客様や遅く来られた信者の行き場として、牧師を中心とするこのクラスの発展性はあると思います。他のクラスが活発なディスカッションを広げるとき、もう少し柔らかく真理を確かめてもよいと思います。（柳沼時影）



応接間クラス

クラスメートは信仰歴何十年という方ばかりで、教師を仰せつかっているものの、諸先輩方から教えていただくことが多くあります。特に教課の学びの中から?自分が体験された信仰の証を聞けますことは、学ぶ者にとって、喜びであり、また励みにもなっています。平沼さんは、教課のポイントをよく示して下さり、聖書の歴史的背景なども織り交ぜながら教えてくださいます。渡部(康)長老は、教課の教える深い意味について解説をしてくださいます。ときどき、教課の内容からはずれて、議論百出、気がついて、皆で苦笑いなどということもあり楽しいクラスです。中央教会の歴史について知りたい方は、是非このクラスにご出席下さい。歓迎いたします。(園田正憲)



聖句と私

金子 盾三

あなたは知らなかったか、あなたは聞かなかったか。主はとこしえの神、地の果の創造者であって、弱ることなく、また疲れることなく、その知恵ははかりがたい。……年若い者も弱り、かつ疲れ、壮年の者も疲れはてて倒れる。しかし主を待ち望む者は新たなる力を得、わしのように翼をはって、のぼることができる。走っても疲れることなく、歩いても弱ることはない。(イザヤ 40:28, 30, 31)

日々の生活に追われ、人生に疲れをおぼえる時、ふとこの御言葉を思い出す。

そして、私の創造者である主に望みを抱く。まことの力の源であられる主に目を向ける。その時、平安と喜びとともに再び生きる力が与えられる。この御言葉の中に、私たちが真に待ち望むべきお方が示されている。

これからの人生においても、この御言葉は私を支えてくれることだろう。

原宿彩

秋の講演会 が10月13日(土)と14日(日)の3時から開催されました。あの衝撃的な多発テロ事件は、まだほんの1か月前。忌まわしい記憶もまだ生々しいとき、この講演会の持つ意義は格別のものであったと思います。コンピュータの画像を駆使しての、明晰で力強い板東先生のメッセージに聞き入る皆さんの表情には、例年とは違った思いがこもっているように思われました。

10月28日(日)10時からの恒例のバザー は、生憎の雨天のため、テント下での焼そば以外は、教会内での販売となりました。しかし、看板・ポスター・呼び込みの甲斐があり、多くの方がお越しになり、手提げ袋をいっぱいにして買い物をしておられました。前日から近くの親戚の家に泊まって来られた方や、毎年来ているという方々がいらっしやっただのには、驚かされました。お手伝い下さいました方々のご尽力により、悪天候の中で約46万円の売上げ! 祝福です。

虫の声ひときわ響く昨日今日 (時子)
 来年も揃って撮りたし敬老会 (〃)
 秋草を摘みて束ねて人を恋ひ (満里子)
 石橋の名前うすれて野萩散る (〃)
 野分立ち群れ鳥の声瑞瑞し (保)
 夕映や黄金色して稲の波 (茂子)
 (どうぞお気軽に短歌・俳句又詩をお寄せ下さい。お待ち致しております。(茂子))

牧師によるバイブル豆事典

「報復」

報復は聖書の大切な考えの一つです。それには、犯した悪に対するふさわしい懲罰と、行われた善にふさわしい報いという二つの面があります。家庭や社会においてもこの原則は大切です(箴言13:24、22:15、29:15、マタイ25:14-30、エペソ6:5~9、コロサイ3:22~25)。教会あるいは国家は、それぞれの範囲で公正と秩序を守るために賞罰を与えることが神によって認められています(マタイ16:19、ローマ13:4、ペテロ2:14)。したがって、報復はそれ自体悪だとはいえません。問題は、限界のある人間が自分の手でそれをしようとするとき、誤解や権力の濫用がありうるということです。(ただ神のみが完全です。)

したがって、特に個人レベルの報復について、聖書は、「『彼がわたしにしたように、わたしも彼にしよう。わたしは人がしたところにしたがって、その人に報いよう』」と言ってはならない(箴言24:29)と言います。これと同じことをイエス様は「何事においても、人々からしてもらいたいように、彼らにもしなさい」(マタイ7:12 新国際訳、マタイ5:39、44参照)と言われます。パウロも、報復は神に任せることを強く勧めています(ローマ12:14-21)。

神の本質的なご品性は愛です(ヨハネ4:8)。悪を罰し、善に報いるということは、人が神に対して罪を犯した結果初めて必要になったのです。罪に陥った人を救うためには、その罪が救いの妨げになることを教え、それを取り除くことが必要です。神がなさる報復は、神が断固として罪を拒否され、滅ぼされることを表すもので、この意味で救いの完成のために不可欠なものです。したがって、神の報復は、神の愛による救いの計画の重要な一部であると言えます。

(東京中央教会牧師 板東洋三郎)

11月のスケジュール

- 11 / 3(土) [説]板東洋三郎牧師
各部役員会
/ 4(日) クッキングクラス(10:00~13:00)
/10(土) [説]武井今日子副牧師 & 子供のお話
アドベンチストはらじゅく & 週報発送
PFC野外礼拝
/17(土) [説]板東洋三郎牧師
讃美と証 13:30~ 集会室
理事会 15:00~ 会議室
TIC国際合同礼拝(立川)
/18(日) 教会大掃除
/24(土) [説]我妻清三牧師 & 子供のお話
/25(日) PFC普通集会

教会のホームページを開設しています。

<http://www.sda.gr.jp>

エデン
ED園だより

秋は音楽・美術など芸術の季節。私は先日耳慣れない「スプリング」個展を見て来ました。一見織物のように、またニットのような伸縮性を持ち、ねじれや、凹凸によい立体的なテクスチャーになる技法の巧みさに目を奪われました。遺跡からの発掘品として最古の物に、デンマークから青銅器時代(B.C.1400頃)の頭覆いの断片が出土されたそうです。縦糸を二本の棒の間に輪状に整経し両端の棒を固定して縦糸丈を前後・左右・斜めに交叉させる見事な芸術品を見ました。日本の方が10年ほど前から現代にスプリングを再構成したいと模索されての個展でした。その感激の余韻がまだ残って居ります。(SH)

発行：東京中央教会コミュニケーション部

* 発行人：板東洋三郎

[住所] 〒150-0001 渋谷区神宮前1-11-1 03-3402-1517

* 編集人：前中靖司

* スタッフ：佐藤敏子・寺内雅子・平山茂子・森武靖子・山口保夫